



今年も押し迫ってまいりましたが、土器川リバーキーパーズの会員の皆様におかれては、ますますご清栄のことと思います。今年を振り返ってみますと、東日本大震災の発生により、防災について真剣に考えさせられた年であったように思います。改めて、東日本大震災の被災地の復興を心よりお祈りいたします。



キーワード: 土器川の魚道

○概要

魚道とは、魚などが上下流方向へ移動するにあたって障害となるダム、取水堰、床止工などの河川横断施設に設置される魚の通り道を確保する工作物のことです。

土器川本川の河川横断施設では、土器川潮止堰（2k/1付近）などで魚道が設置されており、水環境の連続性に配慮しています。



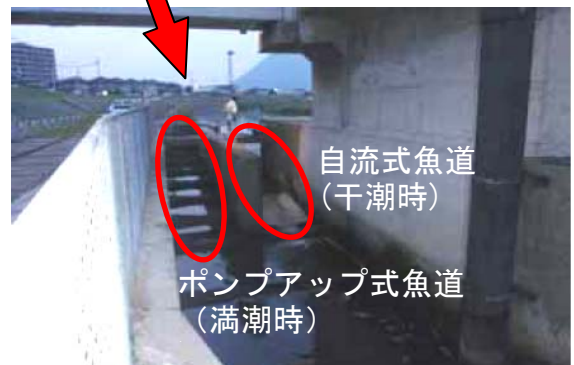
魚道 調節門

土器川潮止堰

○潮止堰の魚道

土器川潮止堰の最大の目的は、汽水域と淡水域を分け下流一帯の伏流水取水を塩害から守ることですが、魚道についても、その本来の目的が損なわれないように干潮時でも満潮時でも魚が上下流に移動できるよう、2種類設置しています。

干潮時は河川水は自然流下し、**自流式魚道**において魚は上下流を移動します。満潮時は塩水の遡上を防ぐため、調節門と自流式魚道のゲートを上げ、河川水をポンプアップして下流に流す**ポンプアップ式魚道**において魚は上下流を移動します。（ポンプアップ式魚道は階段式で高いため塩水は遡上しません。）



自流式魚道
(干潮時)

ポンプアップ式魚道
(満潮時)

土器川潮止堰の魚道

○遡上の状況

平成21年に潮止堰魚道において**アユの遡上状況調査**を実施しました。アユは下流域の河床で産卵しますが、孵化後すぐに海に下り、体長5～8cmぐらいの仔魚になって遡上を行います。

土器川でアユの遡上が活発になる5月には、目視観察とビデオ撮影により、アユの遡上を確認しました。

また、11月には潮止堰の上流で全長20cm程度のアユが確認されて、遡上したアユが夏から秋にかけて成長していることがわかりました。



←潮止堰上流のアユ

潮止堰魚道を遡上するアユ(ビデオ撮影)

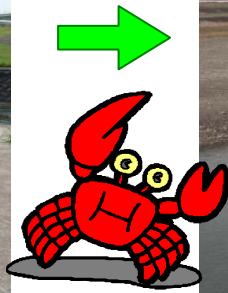
○平成22年度工事で完成した魚道

平成23年1月に飯野地区の長友樋門(右岸3k/2付近)と土器地区の古子樋門(左岸2k/6付近)においても魚道が整備されました。

【長友樋門】 魚類や甲殻類の移動に配慮し、段差のあった長友樋門水路と本川に連続性を確保する魚道を設置しました。



【古子樋門】 カニ等が鳥の餌食とならないように、隠れながら登ることができる根固ブロックを活用した簡易的な魚道を設置しました。



○位置図



土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしとご意見をお寄せください。

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32
TEL:087-821-1623(計画課直通) FAX:087-821-1713

